

(小)学校 (社会科)「戦争を体験した人々とくらし」

提案者 仙台市立将監西小学校 (竹田幸司)

1 単元の目標

満州事変から二抽選層までの戦争の背景と経過，国民や戦場となった地域の人々の生活の様子などを調べ，戦争の実態と平和の意義について考える。

2 本時の目標

聞き取りなどから戦争の様子に関心をもつことができる。

3 活用コンテンツ

東仙台小学校 Web ページ くらしのうつりかわり 町のうつりかわり
空しゅうのあったころ おそろしい空しゅう

<http://www2.sendai-c.ed.jp/~higasen/kurasi/mati/kusyuu/seikatu.htm>.

一面焼け野原
だね

多くの人
がなくなっ
たんだって



4 本時の流れ

	段階	学習活動 (使用コンテンツ・URL、 指導上の留意点、 評価の視点)
本 時 流 れ	導入	1. 空襲の画像をスクリーンに写し,戦争について知っていることを発表しあう。 東仙台小学校 Web ページ うちのうつりかわり 町のうつりかわり 空しゅうのあったころ おそろしい空しゅう http://www2.sendai-c.ed.jp/~higasen/kurasi/mati/kusyuu/seikatu.htm 写真をみて感じたことを自由に発表しあう。
	展開	2. その当時のことについて地域のお年寄りの方々の話を聞く。 3. お年寄りの話しの感想を発表しあう。 数字や聞きなれない言葉は黒板に書く。 4. これからの学習でどんなことを調べ考えればよいのか考える お年寄りの方の話を聞いての気づきや疑問を自分の言葉で表現できる。
	まとめ	5. 自分の学習問題について学習計画をたてる。

5 授業の様子

・当時の様子を画像によって知らせ,お年寄りの話を聞かせたことにより児童の興味・関心を引くことができた。

・見る聞くの体験を通して自分なりの疑問や気づきを出すことができていた。

6 授業者の感想

・お年寄りの話しが仙台空襲についてのこともふれていたなので画像と一致し子どもの理解がより深まったと感じる。

・あらかじめお年寄りの方との打ち合わせを十分しその話しに関する資料を多く集めることも必要だと感じた。